

食事BUBの取組

野菜をとる行動変容、塩分を控える、町ごと血圧を下げる、
企業と大学が手を取って一つのセンサの開発から世界を変える。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構
教授 寶澤 篤
カゴメ株式会社（主幹企業）



■ 概要

高血圧予防に向け、“ナトカリ”比という新たな概念が健康・行動指標となっている社会を目指す。

デバイスで『はかる』 → エビデンスにて『わかる』 → 具体的な改善方法を『おくる』



■ 社会実装に向けた戦略および成果等

- ・登米市の特定健診にて尿ナトカリ比を複数年測定することで、住民の尿ナトカリ比や血圧が低下。（本研究成果を発表した小暮真奈 助教が第31回血圧管理研究会にて日野原重明賞を受賞）
- ・上記エビデンス・実績を基に様々な場面での実装へつなげる。
- ・参画機関を中心にステークホルダーを巻き込みながら“ナトカリ”比の概念や指標を人々の日常生活への浸透・普及を図る。
- ・食事の“ナトカリ”比を整えるためのツールとしてナトカリマップ®のプロトタイプを作製。